

What's LGD ラボグロウンダイヤモンドの未来予想図 Vol.8

LDJS (インドのムンバイにある展示会)について

弊社も今まで色々な日本の各地の展示会に積極的に出展してきましたが、残念ながらまだ日本のジュエリーの展示会は海外来訪者に対して積極的にオープンにできない状況であるのに対し、海外のジュエリーショーはほぼコロナ禍前の状況に戻りつつあると言えらるまでに回復してきました。

コロナ禍によるグローバル間の足止め、消費の冷え込み、ビジネスチャンスの喪失、景気が停滞していた流れをいち早く取り戻そうと、どの国も官民一体となった催しが積極的に行われ、出展者と訪問者両方が新たなビジネスチャンスを模索し既に活気を取り戻しつつあります。

昔であれば日本と香港の展示会位にアンテナを貼っておけば、ある程度のダイヤモンドに関する国際情勢や情報などが容易く入手できていました。しかしラボグロウンダイヤモンド(LGD)の出現により、今までの天然ダイヤモンドの採掘から国内に入るまでの流れには一定の規則性がある事から要所を押さえておけば良いところ、LGDは生産国と加工国がさまざまであることから世界のあらゆる所にアンテナを貼らなければならないという状況に追いつかなくなっています。さらに現地に出入しないと深層情報が入手不能になることから、個人的に以前にも増して海外に訪問する事が増えてきました。いかに便利なりモートビジネス(ZOOMなど)が浸透したとは言

え、画面越しの違和感の有る商談よりも、この辺は昔の足を使った現地訪問、対面商談でのやりとり、信頼関係のビルドアップでしか情報収集は進められないように感じています。と言うことで今回は乗り継ぎ19時間掛けてインドのムンバイの展示会LDJSに行ってきました。

LDJSは、従来からのジュエリー全般の会場と、今回2回目の開催になるLGD専門の会場の2つに分けられていました。LGD会場の出展業者は100社(会場は約500坪くらいの広さ)で、マスクをしている人が皆無。前を見て人を避けて歩かないと怖くて当たってしまうくらいに非常に人が多く熱気もあり、最初の二日間だけで来場者が6千人と非常に賑わっていました。出展業者に聞き込みをしたところ「2年前からLGD事業を始めた。その前は40年間天然のダイヤモンドを扱っていた」という新規参入転換業者も多く、来訪者も長年天然ダイヤモンドに慣れ親しんだ人達が多くて新たなビジネス展開を考えている人ばかりでした。ヒアリングをして素直に感じた彼らの印象としては、今まで行ってきた天然ダイヤモンド事業のある種の限界と変わりゆく世界情勢を肌で感じ、数年前まではLGDに感じた違和感がここ数年の同業者で既にいち早く転換した会社が大成功を収めどんどん大きくなっていることに対して抵抗がなくなり、もはやLGDに関してネガティブな面が無い所でマーケットが変化してしまっ、という

意見が殆どでした。もちろん単純にLGDの商売は利益が多いからと言う意見も多かった。天然のダイヤモンドは一業者としてコントロール出来る要素がほとんど無く薄利多売のハイリスクローリターン商売を強いられる反面、LGDは価格面、流通面、マーケットがまだコントロールされていない事から大きく売り上げを伸ばせるというポイントが、今のタイミングでの業種転換の最大のメリットになっています。前回も書きましたがロシアのウクライナ侵攻による様々な問題が複雑に国際社会に絡んでおり、特にインドのダイヤモンド加工の聖地総本山であるSURATIにも深刻に影響を及ぼしています。モディ首相が新たに国策として、LGD事業を政府があらゆる面からバックアップするプロジェクトをいくつも立ち上げ、ここ数年で雇用が減少した割合のなんと8倍以上のレベルにまで雇用と事業創成を増やすといった政策を次々と進めています。SURATIにあるLGD加工業者専門の開発区も併せて見学して来ました。そこは広大な土地で、東京ドームが軽く20個分以上は入るであろう開発区。約800社がその専用区に入ると言われており、またコロナ禍により大幅に遅れていた世界最大規模のダイヤモンド専門の取引所(天然ダイヤとLGD両方の業者のみ入所可)もほぼ完成。ここでも約2万人が働くことになる規模はどちらも只々「荘厳旺盛」の一言でした。

もちろんこれら各国の大きな政策が無作為に行われる訳は無く、緻密な計画の全ては今まで数年間ずっと静観していた業者達を含め、成功への十分なデータ、実例が存在することから次のビジネスアクションに移った者が多くいる

事が考えられます。ここ5年のアメリカ市場の爆発的な増加は確かに存在し、今なお劇的な増加が見込める市場に変わりはなく、最低5年から10年間はマーケットが増加することが容易に想像できます。ここ数年のアメリカ市場一強時代からすでに他のマーケットにもトレンドが飛び火している事が各方面で確認できています。去年の末からヨーロッパ市場や中国市場にも変化が見られ、これらの転換スピードもじっくり考慮に入れつつ、国としての業界に於ける舵取りと時代の先取りを国策としていち早く取り入れたインド政府の英断は高く評価すべきです。果たして国レベルで日本がこれらの情報を手に入れた際に同じアクションまで起こせる団体、企業はどれくらいいるだろうか疑問です。今こそ海外で起きている現実を受け止め次の準備ステップに入るタイミングであると強く確信しています。

LGDジュエリーの新しいライフスタイルとマーケットの創出、サステナブル、低価格によりもたらされる新しい価値観に早く敏感に反応する若者や新しい消費者層が、アメリカやこれから海外で起きている消費者と同じアクションをたどるかどうかが非常に興味深く、注意深く見守っていく必要があると思います。LGDマーケットの成長は疑う余地がないのだから、上記で述べたインドで起きた従来業者の新たな転換が日本市場でも起きる可能性は非常に高く、海外の変化に対して常に動向を逃さない情報をキャッチする力と決断力がジュエリー企業のオーナーに問われる時代になったと思います。

一般社団法人日本ラボグロウンダイヤモンド協会
理事 林 裕民

佐藤英昭弁護士による『特許の哲学』 其の75

Amazonと財務省 模倣品対策で連携強化

Amazonジャパンは、知的財産侵害物品等の国内流入防止を目的に、財務省関税局と模倣品等の水際取締りに関する協力関係の強化についての覚書を締結したことを発表。財務省関税局がEC事業者と覚書を締結するのは、今回が初となる。

財務省関税局長は「インターネットの普及と国境をまたいだ電子商取引の急速な進展に伴い、模倣品等の流通が大きな問題となる中、Amazon

ジャパンと知的財産侵害物品等の水際取締りに係る協力に関する覚書を締結したことで、水際取締りのさらなる強化が期待される」と述べた。

今回の覚書の締結により、両者は模倣品などの国内流入防止のための協力関係の強化方法について共同で検討し、税関が差し止めた模倣品や関連する模倣品業者に関する情報交換を進めていくとしている。

これにより、水際の模倣品業者の特定や悪質業者の取締りをより効率的に行い、模倣品などの国内流入防止のより一層の強化が期待できるとしている。

(特許業務法人共生国際特許事務所所属)

従来の4C鑑定を越え サリネが評価の範囲を拡張

ダイヤモンドテクノロジー企業、Sarine Technologies Ltd. (Sarine)は、人工知能によるダイヤモンド自動鑑定システム「e-Grading™」をダイヤモンドサプライチェーンの中流に位置するダイヤモンドメーカー(研磨業者)向けに展開中。これにより、ダイヤモンドの研磨プロセスが完了すると同時に、工場内で客観的で正確で一貫性を持つダイヤモンドの自動グレーディングを可能にする。さらにSarineは、より正確で一貫したグレーディングを実現させるために、第二世代の人工知能グレーディングテクノロジーを搭載したSarine Clarity-II™とアップデートされたSarine Color™を発表した。Sarine Clarity-II™はクラリティの自動鑑定システムで、VVSからIまでの

お店とお客様の橋渡しができる!!
販売員さんご紹介! します!

BICO・GHI株式会社
エムシーマネキン紹介事業部

東京 TEL: 03-3409-6954
札幌 TEL: 011-219-0758
大阪 TEL: 06-6348-1020

全クラリティ範囲にわたってグレードを提供。これは従来の4C鑑定を越え、ダイヤモンド評価の範囲を拡張。Sarine Clarity-II™は、Black in Table (BIT)、Black in Crown (BIC)など、商業的に利用可能なソートパラメータを評価する機能を備える。また、高度な機能を持つカラー鑑定システムであるSarine Color™は、蛍光性や色味(ティント)を評価することが可能で、カラーグレードの追加情報を提供する。

小売の十字路 104

小経営の 人使いの難しさ

有能なスタッフが入ってきたら万事うまくいくとは限らない

お取扱小売店舗大募集!! お気軽にお問合せ下さい

NeoS クラスプ

ボキッと0.1秒! 折るだけで取り外し可能な全く新しいマグネットパーツ! 引き輪・プレートが付いたチェーンにも利用可能なNeoマグにも用意しています!

大切なピアス、安心して使いたから

株式会社エクス
〒110-0013
東京都台東区台東4-8-7 ヒューリック仲御徒町ビル8F 担当: 遠山
TEL: 03-5688-6081 Mail: info@eemis.jp URL: https://www.eemis.jp/

欠員ができたのでスタッフを一人補充した。使ってみると思っていたより優秀のほかに優秀のほかに優秀。全くと見知らぬ人を履歴書と簡単な面接で選考し判断をしなければならぬ。雇い入れた人物が、遅刻や早退、欠勤など時間にルーズであったり性格的に問題があったりしては困るのである。辞めてもらうにしても後味は悪いし、それよりも応募を再度一からやり直すのは大きな負担である。募集経費もバカにならない。だから思い通りの人を確保できたと判断すれば一安心、と経営者の思考はここで止まる。いや止まりがちである。この視点は働いているスタッフたちの視点とは一致しない。社内の規律

やルールを守れない新人さんは論外としても、有能な新人さんは社内に微妙な心理的波紋を広げていく場合がある。「あの人が活躍し始めると、もしかしたら自分は不要な人材とみなされてリストラされるかもしれない、配置転換の憂き目を見るかもしれない」という不安と憂鬱な気分が陥ってしまうスタッフがいてもおかしくない。あるいは社歴も長くスタッフの長として一目置かれていた人も自分の面目やプライドが損なわれるかもしれないと身構える。一見平穏な社内にもいじめや意地悪の素地が生まれてくる。誰が悪いわけではないのだが、そして有能な人は会社にとって確かにプラスなのだが、経営者の樂觀ほどにはウィンウィンではない。ジュエリーや時計のように高額で尚且つ修

理品の取り扱いに神経を使う仕事ではどうしても売り場の人間関係の重要性は大きい。接客のフォローがトラブルを防ぐからだ。場合によっては多大な損失につながる。それでは、意図的に凡庸ともいえない人を雇えばいいかというだけでは何も活性化しない。新人さんが持ち込んでくる新しい風が社内と摩擦を起こしつつも従来の在り様を変えるところに人事の妙があるはずである。小経営というのはスタッフが固定化し自然と変化を好まなくなる傾向がある。新しいことは何かにつけて不満を産むのである。こんな時、社長に小言も言うが、一方で働いている人たちの不満や不安を受け止めながら全体をまとめる「番頭」

さん(今は死語に近いが)がいると組織が柔らかい構造になる。人情の機微に通じる人というのは貴重なのである。私の経験では大きな会社ならば一人は一人では足りないが、例えば5人のスタッフが回している小経営では一人が辞めるということは100人規模の20人に匹敵する影響力があると考えていたほうがいい。逆に言えば一人が新しく雇われると20人の新人が入ってきたことになる。それだけに経営者は、雇って「これでよし」ではなく、「番頭」さんがいないのならばしばらくは隅々まで目を光らせておかないと、社内心理の綾が売上に直撃しかねないのである。

貧骨
cosmoloop.22k@nifty.com

前回比80社増 340社が出展!

50万点のジュエリー・アクセサリが一堂に展示・販売

第10回 国際宝飾展 秋

通称 秋のIJT

2022年 10月26日[水]~28日[金] 10:00~18:00 (28日[金]のみ17:00閉場) パシフィコ横浜

秋のIJT 来場のメリット

- ◆ 製品を「実際に見て」比較・検討
 - ・ハイジュエリーからライトジュエリーまで幅広く出展
 - ・出展社イテオシの秋のIJT限定製品も多数
 - ・催事に最適な企業が見つかる
- ◆ 作品製作に最適な場
 - ・素材・パーツが26万点 出展(ダイヤモンド・パール・天然石・など)
 - ・トレンド/最新のデザインを学べる
 - ・併催セミナーで販売ノウハウが習得できる
- ◆ 業界参入に絶好の機会
 - ・SNS販売が可能なインフルエンサーの需要が急増
 - ・出展製品の仕入れは1点から可能
 - ・会場内でライブ販売もできる

最新の出展社・製品情報はWebへ

- ◆ 出展製品を写真付きで掲載
 - ◆ カテゴリー別に検索可能!(製品・素材・価格帯 など)
- 出展社・製品検索ページはこちら > www.ijt.jp/directory_a/

動画でも秋のIJTをご紹介します

動画へのアクセスはこちら

前回の(2021年)会場風景

出展の出展社数、製品数は、2022年8月15日時点での最終見込み数字であり、開場時には増減する可能性があります。また、出展社数は出展契約企業に加え、共同出展するグループ企業・パートナー企業数も含まれます。

招待券のご請求はWEBへ(無料) www.ijt.jp/inv_a/

※入場には1名様につき招待券1枚が必要
※18歳未満の入場はお断り
※招待券をお持ちでない場合、入場料5,000円/人

【問合せ先】 主催者 RX Japan株式会社 秋のIJT事務局 〒163-0570 東京都新宿区西新宿1-26-2 新宿野村ビル18階 TEL: 0570-550-625 E-mail: ijt.jp@rxglobal.com